

水道事業、下水道事業の取組み ～平成 27 年度予算～

川崎の水道・下水道は、市民の方々の安全・安心や快適な生活を守るライフラインです。平成 27 年度予算においても、「強くしなやかな上下水道」を目指して地震対策、浸水対策などを推進します。

地震対策 [水道:約 69 億円 下水道:約 26 億円]

▶ 水道

- ・配水池や水道管の耐震化を進めます。
- ・小中学校の水飲み場を活用した、応急給水拠点の整備を推進します。



橘中学校応急給水拠点(除幕式)

▶ 下水道

- ・重要な下水管きよの耐震化(川崎駅以南)や、重要な下水管きよの耐震診断(川崎駅以北)を進めます。
- ・入江崎水処理センター等において、防水扉の設置等の津波対策を進めます。

施設の再整備・再構築 [水道:約 48 億円 下水道:約 34 億円]

▶ 水道

- ・長沢浄水場の施設能力の増強、耐震化を進めます。
- ・生田配水池の更新・耐震化を進めます。



長沢浄水場整備工事完成予想図

▶ 下水道

- ・老朽施設・管きよの更新を進めます。
- ・水処理センターやポンプ場における機械、電気設備の計画的な長寿命化や更新を進めます。

浸水対策 [下水道:約 27 億円]

▶ 下水道

- ・大師河原貯留管の整備事業を進めます。
- ・浸水シミュレーションにより、新たに浸水リスクの高い地区を抽出し、効果的な対策の実現に向けた検討を進めます。



大師河原貯留管の整備

下水道施設の高度処理化 [下水道:約 43 億円]

▶ 下水道

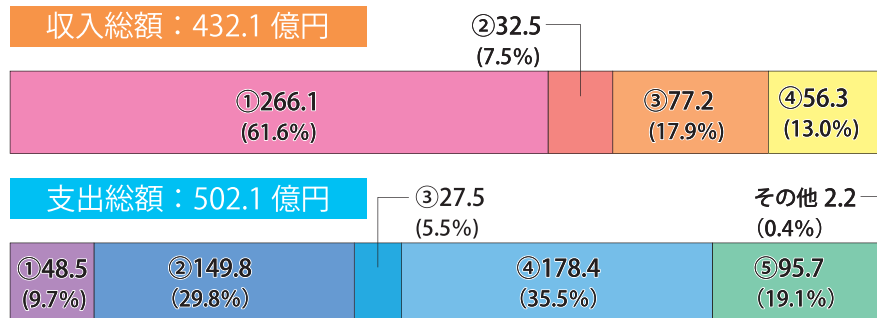
- ・入江崎水処理センターの西系再構築事業、等々力水処理センター高度処理施設の整備を進め、富栄養化の原因となる窒素やリンの除去に向けた取組みを進めています。



2020 年
東京オリンピックで
各種競技が行われる
東京湾の水質改善に
貢献します。

平成 27 年度予算収支

▶ 水道事業における収入総額と支出総額 (税込み額 / 単位: 億円)

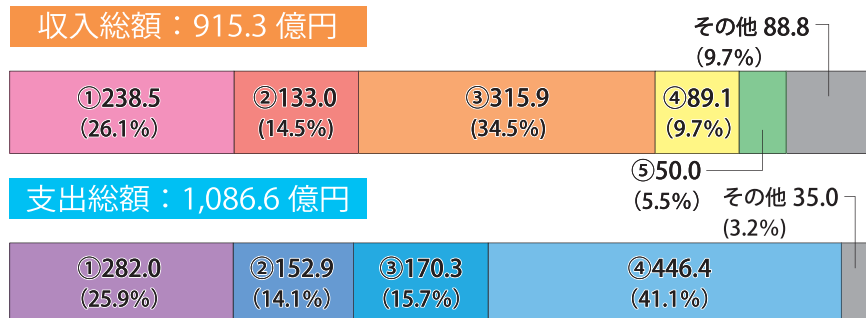


収入	① 水道料金
	② 施設の耐震化等のための国庫補助金など
	③ 施設の再構築・耐震化等のための借入金 (企業債)
	④ 水道利用加入金など
支出	① 原水をダムなどから浄水場まで運び、水道水にするための費用
	② 水道水を浄水場からお客さまに配るための費用
	③ 水道メータの検針、水道料金の徴収等のための費用
	④ 施設の再構築・耐震化、企業債償還等のための費用
	⑤ 神奈川県内広域水道企業団からの水道水の受水のための費用

収支不足額については、損益勘定留保資金等で対応します。

財務課[水道経理] ☎ 044-200-3106 FAX 044-200-0376

▶ 下水道事業における収入総額と支出総額 (税込み額 / 単位: 億円)



収入	① 下水道使用料
	② 雨水の排除等のための一般会計負担金など
	③ 施設の再整備・耐震化、浸水対策等及び企業債償還のための借入金 (企業債)
	④ 企業債償還等のための積立金の繰入など
	⑤ 施設の再整備・耐震化、浸水対策等のための国庫補助金
支出	① 汚水処理のための費用
	② 雨水の排除等のための費用
	③ 施設の再整備・耐震化、浸水対策等のための費用
	④ 企業債償還のための費用

収支不足額については、損益勘定留保資金等で対応します。

財務課[下水道財務] ☎ 044-200-2887 FAX 044-200-0376



小規模受水槽水道の点検調査を無料で実施します

より安全で清浄な水を皆様にご利用いただくため、受水槽の点検調査を実施しています。

- ◆期 間: 平成 27 年 4 月～平成 28 年 2 月
- ◆対 象: 有効容量が 8 立方メートル以下の受水槽(幸区、中原区、高津区及び川崎区の一部)
- ◆案 内: 対象者に順次郵送
- ◆費 用: 無料

点検調査は、上下水道局が委託した民間会社の調査員が現地へお伺いしますので、点検調査の際はご協力をお願いします。なお、点検調査に関するご質問は委託会社までお問い合わせください。

受託者: 公益社団法人 日本食品衛生協会 (Tel.042-789-0212)

また、受水槽以降の設備や水質などの維持管理は、建物の所有者または管理者が行うことになっています。受水槽の維持管理については、上下水道局ウェブサイトでもご覧いただけます。

川崎市上下水道局 受水槽

検索

